

学校名	川越市立武蔵野小学校
所在地	埼玉県川越市むさし野14-1
電話	049-242-1394

1 本校の概要

本校は、川越市の東南に位置し、学校の周囲は住宅に囲まれている。周辺には、市民の森や畑がある一方、近年道路が整備され大型スーパーもできている。また、本年で50周年を迎える歴史と伝統のある学校であり、現在は児童数650名の中規模校である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書月間における特色ある取組
- ・ 読書意欲向上にむけた本校の取組

(2) 実践の概要

ア 図書委員会による読書集会

劇	図書室の利用方法を兼ねた物語の劇をした。
クイズ	図書室にある本の紹介を含めたクイズに取り組んだ。
ランキング	各学年の貸出冊数が多い本のランキングをまとめ、発表した。

イ 児童・先生のおすすめの本紹介カード

児童のおすすめ本カードは、制作期間を設定し、さらに児童が読書の幅を広げられるよう自分の気に入ったところや見所をまとめ、掲示した。また、図書整理員の協力のもと、先生のおすすめ本カードに書かれた本の紹介コーナーを設け、いつでも手に取り見ることができるようにした。



ウ 読書ビンゴ・本の貸出冊数の増加

読書本の種類に偏りが出ないよう、様々なジャンルの本を記載したビンゴカードに取り組んだ。1列ビンゴになるとしおりを1枚プレゼントできるよう、図書委員会で作成した。また、図書室を利用する時間が減少しているという課題から、一人でも多くの本を読んでもらうため、読書月間のみ、貸出冊数を2冊に増加した。このことにより、図書室利用者数が他の月に比べて伸びていることが分かった。

エ 図書室ポイントカード

豊かな心情と広い知識を身につけさせるために、本校のキャラクター「むさまる」の描かれたポイントカードを図書委員が作成し、読書意欲の高揚と読書量の増加を図った。図書室利用する度に1ポイント、10ポイント貯まると3冊貸出引換券を配付し、読書意欲を高められるようにした。

オ 読み聞かせの取組

保護者の読み聞かせボランティアと連携し、読書タイムの他に、業間休みにも低学年に向けた読み聞かせをしていただいた。また、本職員の協力を得て、読書タイムの時間に、担当学年ではないクラスに読み聞かせの取り組みをした。どちらの取組も、児童は、どんな本を読んでもくれるのか、どんなお話なのかと興味・関心を高め、集中して聞いていた。

カ 図書室の整備

図書整理員からの提案、協力により、さらに全校児童が利用しやすい図書室になるよう考え、低学年でも本を探せるよう本はタイトル順に並べた。図書室内外の掲示を季節ごとに変化させるなど、温かい雰囲気環境を作り、誰でも気軽に立ち寄ることのできる図書室を作っている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 様々な内容の図書を提供する手立てをしたことにより、児童の読書への意欲を一時的なものに終わらせず、継続した読書活動になった。

イ 児童が主体的に活動できる内容を取り入れたため、読書の大切さと意義を理解することができた。

(2) 課題

ア 児童が、読書に興味を持ち図書室の利用促進につなげるよう、司書教諭や図書担当教諭、図書整理員との十分な意見交換がさらに必要である。

(3) おわりに

児童の読書活動を推進するためには、学校での読書に対する継続的な指導やその環境整備等が非常に重要である。さらに、児童が読書習慣を身につける機会の提供や学校図書館の環境整備等、児童の読書環境づくりに努めていきたい。